

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2017 年 4月 3日

市川市長

団体名 塩浜ふれあいの会
(団体番号 62)
代表者名 飛塚 美紀
所在地 市川市南行徳4-5-6

平成28年 8月12日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	202,472円
(2) 補助対象経費総額	200,000円
(3) 補助金交付決定額	100,000円
(4) 補助金交付概算払額	100,000円



(5) 実施報告

<p>補助決定事業の名称</p>	<p>働く保護者とその子供のふれあい支援事業</p>
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ①交流会：各年齢別交流会の実施（計9回：196人）。 自己紹介、育児に関する情報交換、普段の生活情報の交換、使用サービス、育児施設、病後保育等の情報交換、子供たち同士の触れ合い遊び、その他発育や生活環境、外国人等の文化や生活習慣に対する悩みの共有、知恵出しを行った。たこ焼き器を使った、親子クッキングも人気で外国人親子にも好評だった。 ②科学教室：8/1実施（98人）今年度初めての企画、幼児が自ら作り、体験できる科学実験、科学の面白さを味わえるような、体験学習を実施した。実験内容：空気砲、変化色水、マグネシウム、紫キャベツの色変え。 ③人形劇：9/13実施（106人）「劇団小さいお城」さんまいのおふだを観劇した。 ④農業体験：3/5「小原農園：市川市福栄4-12」にて実施（45家族：142人）秋の長雨による生育不足で農作物が出来なくなり、天気的重要性を学んだ。 帰宅後、親子で食育とクッキングを実施した。</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>年度初めに、各役員一覧の作成、掲示を行い、挨拶活動を実施。 各会員への年度実施計画の連絡はSNSを利用し、一斉に事前の呼びかけに成功した。実施内容に対する質問、疑問等の集約や回答の拡散にも成果があった。 また、外国人家族のために、案内文を英語、中国語で作成しようと試みたものの、結果的に掲示をあまり見ていないことが分かり、例年通り直接の呼びかけを積極的に行った。</p>
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 地域特性上、働く保護者が多く、各外国籍が多く住む地域であり、近年は一人親も一定数おり、自らの時間、子供とのふれあう時間に余裕がなく、地域や日本の文化になじめない、言葉の壁、交流が難しく孤立しがちであることに対する地域のサポート活動を目指してきたが、活動を続けて4年となり、顔見知りが増え、心許せる仲間が増えてきていると感じている。今年には日本人以外にも中国籍の保護者が役員をやってみたいという申し出もあり、企画、準備、実施に至るまで他の役員と共に力を合わせ、完璧に遂行してくれた。受け身である状態から抜け出し、一歩進んだ感があった一年だった。また、新しい企画（科学教室）は兼ねてより子供たちと共に実施したと考えていた企画であったが、地域の小学校の協力も得られ、とても本格的かつ面白さを体験し、科学を楽しんでいる子供たちに国籍の違いは無く、とてもすばらしい経験となった。また例年通り実施している交流会では、日頃より忙しく働く保護者にとって憩いの場、時間となり、クッキングをしながらが定番となってきた。皆悩みを抱えながら頑張っている姿を共有し、元気をもらえたという声が多かった。また先輩保護者は積極的に話を聞き、必要に応じてアドバイスしている姿も印象的だった。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 新たな事を少しずつ取り入れつつ、活動を続けることで得られる顔見知りの存在、ちょっとした時に話をしたり、頼れる存在ができることの安心感を持ってもらえる活動をこれからも継続していくことが重要だと考えている。また共に共感して、会をひっばって行く仲間が増えれば、さらにその存在の幅が広がると考えているため、次年度も国籍を問わず、役員立候補者は積極的に受け入れ、寄り添いながら事業実施をしていきたいと考えている。</p>

市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 働く保護者とその子供のふれあい支援事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入	88,100	各イベントでの会費徴収 (人形劇106人×250円、科学教室98人×50円、農業体験45家族 (142人) ×1,260円)
寄附金収入	0	
補助金収入	100,000	
その他 (助成金等)	0	
会費充当	14,372	団体の本会計より充当
合 計	202,472	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費	150,000	150,000	外部講師等の招へい あり 人形劇50,000円 農業体験50,000円×2回
交通費	0		
消耗品費	30,817	30,000	印刷用インク代、文具、塗り絵、パズル代等 (各領収証に記載)
印刷製本費	1,774	1,500	コピー代、写真現像代
通信運搬費			
保険料			
使用料及び賃借料	4,820	4,500	集会所使用料
原材料費	15,061	14,000	科学実験教室の原材料費
合 計	202,472	200,000	

※ 領収書 (原本) を添付してください。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 親子科学実験教室

撮影年月日 : 2016.8.1



タイトル : 親子農業体験

撮影年月日 : 2017.3.5

